えんがわ

2019 年 7 月 1 日発行
出雲市古志町 344
社会福祉法人ことぶき福祉会
『笑庵ことぶき』
発行責任者：施設長　加田　誠
TEL:(0853)25-7701
FAX:(0853)25-7702

笑庵ことぶきでは、ことぶきの里で生活しておられる方との昼食をご一緒する曜日があります。そんな時に、食事をしながらことぶきの里から来ておられた F さんとの何気ない会話の中から視野が広くなるお話が聞けました。

F さん「味噌汁は、何に入れて飲むかね？」

職員「やっぱり汁椀ですかね。」

F さん「あら、あんた。味噌汁だけんと言って、汁椀で飲むという事は決まって無いわよ。ちょっと心に余裕を持って、お気に入りのカップに入れて飲んでみなさいや。

様変わりして、いつもの味と違う味に感じるし、新しい発見があるのよ。楽しいわよ。

私は 90 歳を越えても、そんな小さな発見やいつもと違う毎日を暮らしたい訳なのよ。

何も決まった事なんてこの世に無いんだからね。」と教えてくださいました。

家に帰り広口のカップに入れて早速飲んでみて、この時私は、自分の頭の中に固められた固定概念が人生の変化や楽しみを曇らせてしまっていることもあるのだなと実感しました。

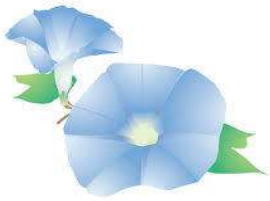
いつもの味噌汁でも器を変えたことで視野が変わり、新鮮な気持ちになれるのです。

それは少し童心に返った様な気持ちにも思えました。

いつもと違う「自分」や「生活環境」「食事」「衣服」等々、少し視野の角度を変えて「決まりのない生活」を楽しめる毎日を過ごしたい、またそれを支援していきたいと思っています。

「一杯の味噌汁」、今日はいつもと違う視野で飲んでみられてはどうでしょうか。

何かしらの幸せの発見がある様に願っております。



参院選を目前に控えた中、老後の資金問題が騒がれています。あるニュース番組で行われていた党首討論で取り上げていた話題はやはり年金についてであり、年金への不安をどう解消するのか、この先年金はもらえるのか、など司会者が各党首に意見を求めるものでした。老後 30 年で必要な金額について示された数字について、厚労省が 2000 万円、金融庁が 1500～3000 万円、経産省が 2895 万円であるが、実際はどうかという番組からの問いに対し自民党総裁である安倍首相からは、「それらの数字は平均である。高齢者世帯の 1 割は 5 千万円以上貯蓄があり、平均で見るのは間違いである。個々を見ないといけない。」との返答でした。「平均で見てはいけない、個々を見ないといけない」といった部分を繰り返し述べていましたが、問いへの具体的な返答はなされず、論点をすり替えているような印象を受けました。少なくとも私達の不安に向き合う姿勢は感じにくいものでした。

また、各党政策目標を掲げていますが、党によって違いはあれども、それらは国民が安心して暮らしていけるためのものであるはずですし、そうあってほしいと思います。選挙戦のための公約では意味がありません。それらに対する責任を果たす努力を政治家は見せるべきですし、そして何より、賛成であっても反対であっても、意見を述べることでそれらに応える義務が国民にはあるはずです。

信頼を寄せることができる、安心して身を任せられる関係というのは、相手が自分にきちんと向き合ってくれると思えてこそではないでしょうか。意見が食い違う時や何か問題が起きた時でも互いを認め合うことが出来るとすれば、それは向き合い、対話を重ねていくことでしか得られない結果ではないかと思います。このことは相手の規模などに関係なく、政治に対しても、自分たちの身近な存在に対しても言えることだと思います。向き合い、対話する努力を、そのような姿勢をまずは自分自身から示していきたいと思います。

普段は独歩が可能な K さん、ここしばらく脚の方を痛めており特に夜間など押し車を使用されることが多くなっていました。ある夜、トイレに行こうと起きられた際、ホールにある椅子などにつかまりながら歩かれていたため押し車が必要ではないかと思い声を掛けた所、「くせになるけん」と押し車を使わず、ゆっくりながらも自分の力で歩いていかれました。

また、洗濯物を干されていた T さんは、仕事を終えると、職員に向かって「また私にできることがあったら言ってね」と。またある時には、食器拭きをしようとする M さんが「ちょっと T さんこれ手伝ってくれる？」とお年寄りさん同士で声を掛け合いながら、身の回りのことをされていました。

介護保険制度における「自立支援」とは何でしょうか。「自立支援のため」に足腰を鍛えてもらおう、掃除や洗濯などの作業をしてもらおうというのは利用者主体に考えられていない視点だと思います。私達は、利用者自身の「生活」や「思い」が軸にあるということを理解した上で、支援にあたらなければならないと思っています。ことぶき福祉会では職員は黒子であるということを教えられます。必要以上に手を出さず、しかし目を離さず、そしてどういった支援が必要であるかを見極める力を養っていく努力を続けねばと思います。

け今年は例年より遅れながらの梅雨入りとなりました。蒸し暑い日が続いている中ですが、ニュースで見た荒神谷遺跡のハスの花を見に行かれたり、I さんの馴染みの地である立久恵峡の方までドライブに出掛け、雄大な自然の中でのびのびと過ごされたり、またある日には、A さんから「今日はラーメンでも食べに出るといいなあ」と声があがり、急遽ラーメンを食べに出掛け、話も弾みながらの外食を楽しまれていました。皆さんの声を拾いながら、楽しい日々を過ごしてもらえるよう工夫していきたいと思います。